

# 地域映像アーカイブ

研究代表者 原 田 健 一

## 1 「地域映像アーカイブ」について

「地域映像アーカイブ」プロジェクトでは、新潟地域の生活のなかにある映像を発掘し、整理・保存を行い、デジタル化をするだけでなく、その内容を整理、分析し、映像メディアの社会的あり方を考え直し、新たな社会の文化遺産として映像を甦らせるべく作業を行ってきた。

デジタル化が終わっている映像や音源は、着々とアーカイブ化されており、現在、写真約2万7000点と動画約300本を新潟大学内で公開している。

学内で見る場合は、「にいがた 地域映像アーカイブ・データベース」  
<http://arc.human.niigata-u.ac.jp/db/> にて、自由に見ることができる。なお、学外からアクセスする場合は、新潟大学「地域映像アーカイブ」のホームページ  
<http://www.human.niigata-u.ac.jp/ciap/> より使用するための申請書を提出すると、1週間ほどで、IDとパスワードが発行される。

「にいがた 地域映像アーカイブ・データベース」を使った授業は、新潟大学だけでなく、東京大学情報学環、東京造形大学、放送大学などの授業でも使われている。

2014年9月より新潟県立図書館での閲覧が可能となった。今後は、小中高等学校で利用できるよう、県市町村とも連携し、公開を推進する予定だ。

なお、この研究プロジェクトとの代表は原田健一、分担者は石田美紀、榎本千賀子、甲斐義明、北村順生、古賀豊、中村隆志である。

## 2 大学連携、社会連携によるシンポジウム、展覧上映イベントの概要

### 1. 社会連携による展覧上映イベント

2014年度は「大学と地域、新たな連携による映像展示」として、十日町市、南魚沼市、新潟市内の新潟日報情報館、新潟大学駅南キャンパスとき

めいと、新潟大学旭町学術資料展示館と連携して、地域映像アーカイブの展覧会、ならびに講演会、シンポジウム、ワークショップなどを開催した。

○「中俣正義・山内与喜男2人展 ～十日町・むらとまちの暮らし～」

新潟県中越地震10周年記念・大学地域連携プロジェクト

新潟大学人文学部・十日町市古文書整理ボランティア合同写真展

① 趣旨

新潟県中越地震で被災した、旧・山内写真館（十日町市）の写真は、将来的に活用できるようにするため、十日町市古文書整理ボランティアにより、平成20年から整理作業が進められてきた。その結果、戦中から戦後、とりわけ昭和30年代にかけての高度経済成長期を中心とした活気ある人々の表情や、賑わいのあるまちの姿を、生き生きと今に伝える内容であることが明らかとなってきた。

そして、中越地震発生から10年目を迎えた現在、市民ボランティアの活動により、約3000点の写真のデータベースを完成することができた。その成果物である写真データベースとプリントを、古文書整理ボランティアと所蔵者の山内写真館の3代目店主・山内景行氏から、十日町市に正式に寄贈することになった。

ところで、中俣正義は、南魚沼市欠之上に生まれ、戦後は、日本交通公社の写真家嘱託などをへて、新潟県観光課に勤務することになり、それより、県の観光映画を製作するとともに、写真家として活躍することになった。山内写真館2代目店主・山内与喜男は、中俣正義と長らく交流があり、しばしば十日町で一緒に撮影を共にした。2人は立場を越え、互いに盟友として、何気ない村や町の暮らしを映像に焼きつけることに情熱を燃やしました。

今回の合同写真展は、その2人の写真家が撮影の舞台とした十日町市で、その情熱を燃やしたものが何だったのか。映像を通して、かつての十日町の人びとの息吹を甦らせ、私たちは、今、何を記憶として地域で共有化し、未来に伝えるべきか考える。

② 主催・主管

主催：新潟大学人文学部，十日町市古文書整理ボランティア

主管：十日町市教育委員会文化財課

③ 写真展

(1) 日時・会場：8月16日(土)～24日(日) 十日町情報館ギャラリー

(2) 内容：写真家・中俣正義氏と山内与喜男氏が撮影した，十日町市，津南町の市街地及び農村風景，行事，人物などの写真および映像（DVDの上映）

(3) 参加者数：約1000人

④ 記念贈呈式・講演会

(1) 日時・会場：8月16日(土) 午後1時30分～3時 十日町情報館視聴覚ホール

(2) 写真データベース贈呈式：約4万点に及ぶ山内写真館資料のうち，十日町市古文書整理ボランティアがデータベース化した約3000点のデジタルデータと，2Lプリントを収納したアルバム38冊を十日町市に贈呈する。

(3) 記念講演会「むらとまちの暮らしを写す2人 — 中俣正義・山内与喜男」  
原田健一

(4) 映画『雪の十日町1966』他 解説・佐野良吉（郷土史家），山内景行（旧・山内写真館3代目店主），聞き手：原田健一

(5) 参加者数 50人

⑤ ワークショップ「映像を見ながら語り合おう 昭和の十日町」

(1) 日時・会場：8月24日(日) 午後1時30分～2時30分 十日町情報館集会室

(2) 内容：中俣・山内写真を見ながら思い出したことを，若者や子どもも交えつつ，お互いに語り合う。進行役：北村順生

(3) 参加者数 23人

○「村の肖像展 I & II」

① 主旨 2013年12月，新潟大学旭町学術資料展示館で展示し，たいへん好評を博した新潟県と福島県の県境，奥会津（奥只見）の村で，1952年以降，

60年以上にわたって、村とそこに住む人びとを撮り続けている角田勝之助。その膨大な映像の1端を、昭和20年代後半をⅠで、昭和30年代前半をⅡで紹介します。村の人びとの何気ない日常生活の姿、そしてその変貌を写真でたどります。角田写真をめぐってシンポジウムも開催致します。

② 主催 新潟大学人文学部，新潟大学旭町学術資料展示館，砂丘館

③ 写真展 日時・会場

「村の肖像Ⅰ・展」9月2日(火)～9月21日(日) 砂丘館

参加者数 1083人

「村の肖像Ⅱ・展」9月3日(水)～9月21日(日) 新潟大学旭町学術資料展示館

参加者数 334人

④ シンポジウム 「写真とコミュニティー 角田勝之助の写真をめぐって」

9月14日(日)午後2時 砂丘館 蔵ギャラリー

大日方欣一(写真評論家, 多摩美術大学), 大倉宏(砂丘館館長),

榎本千賀子

司会 原田健一

参加者数 約65人

○「今成家写真と南魚沼の文化」

南魚沼市・新潟大学人文学部連携協定記念 大学地域連携プロジェクト  
合同写真展

① 主旨

南魚沼市には、新潟県で初めて写真術に挑んだといわれる今成家の湿板写真や戦前の平賀洗一の映画をはじめ、貴重な映像が多数残されている。新潟大学地域映像アーカイブセンターでは、南魚沼市協力の下、この地に残る映像資料のデジタル化を進めてきた。そして、アーカイブ所蔵映像の活用とアーカイブの一層の充実をはかるため、新潟大学人文学部と南魚沼市は連携協定を結ぶこととなった。

この連携協定を記念し、アーカイブ所蔵映像より、南魚沼市の最古の映像である今成家の写真を展示する。今成家の写真は、幕末から明治にかけ

ての南魚沼の文化を今に伝える地域の財産であるとともに、西洋の技術である写真が日本でいかに受け入れられたのか、グローバルな交流のありようを解き明かすうえでも貴重な手がかりと考えられている。展示期間中には、今成家の写真と地域の文化の関わりをめぐる講演会、映像を見ながら市民のみなさまとかつての生活や暮らしについて語り合うワークショップも開催する。

② 主催：新潟大学人文学部、南魚沼市

③ 写真展

日時・会場 10月19日（日）～11月21日（金）

南魚沼市図書館展示ギャラリー

参加者数 2420人

④ 南魚沼市・新潟大学人文学部連携協定調印式・講演会

日時・会場 10月19日（日）午後1時30分～午後4時30分

南魚沼市図書館展多目的ホール

講演：「南魚沼地方の地芝居について」滝沢繁

「今成家写真から見る日本初期写真史」榎本千賀子

ワークショップ：「映像を見ながら語り合おう 昭和の南魚沼」

司会：原田健一

参加者数 56人

○ 「にいがた 市山流 — その踊りと芸妓の魅力」

① 主旨

新潟大学地域映像アーカイブセンターと新潟日報メディアシップ連携展示の第1回目の2013年11月では「新潟地震」を特集したいへん好評を博したが、第2回目の今回は、新潟の粹、市山流の踊りと芸妓の魅力を写真と映画で解きほぐす。そこで、この展示では、新潟美人として観光化された芸者のイメージだけではなく、芸妓の仕事現場や生活者としての姿や、芸を披露する表現者としての面からも迫る。

情報館では、新潟美人の典型ともされる芸妓たちの姿を1950年代から1960年代にかけての古町、西堀、本町などの写真や絵葉書などで展示をす

る。さらには、湊町新潟に息づく芸妓たちの料亭での姿や日常生活の姿を写した行成亭の映画や中俣正義による写真も展示し、さらには昭和38年の市山七十郎研踊会の記録映画を上映する。

また、メディアシップ20階のギャラリースペースでは、市山家に残された戦前の写真から、表現者として踊り手の姿を写した写真を展示する。

② 主催：新潟大学人文学部、新潟日报社

③ 写真展

日時・会場 11月1日（土）より11月14日（金）

新潟日報メディアシップ20階 360°展望回廊

11月1日（土）より11月14日（金）

新潟日報メディアシップ1階 新潟日報情報館 compass

参加者数 1169人

④ イベント 「市山流 踊りと芸妓のエキシビジョン」

共催：表象文化論学会

11月9日（日）12時より

新潟日報メディアシップ20階ギャラリースペース

市山流家元市山七十郎による解説で、芸達者な5人の芸妓連によるうたと踊りを披露する。

参加者数 145人

#### 《関連講演》

○図書館総合展フォーラム2014 in 新潟

① 主催：図書館総合展運営委員会

共催：新潟県立図書館

後援：新潟県教育委員会／新潟市教育委員会／日本図書館協会／日本図書館研究会／全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（以上申請済）  
／専門図書館協議会

② 日時・会場：7月11日（金） 新潟県立図書館

③ 内容 パネル討論

「図書館のデジタル化——その現状と課題 第1部：資料のアーカイビングとその活用」

司会：山崎博樹（秋田県立図書館）

パネリスト：上村陽子（新潟県立図書館）、小坂昌（国立国会図書館）、  
原田健一、福島幸宏（京都府立総合資料館）

○歴史講座「古資料が語る新潟の歴史」

- ① 主催：新潟市歴史文化課
- ② 日時・会場：9月27日（土）1時30分 万代市民会館多目的ホール
- ③ 第4回「映像から見た新潟」原田健一  
参加者数 108人

○新潟地域図書館ネットワークめぐるくん連携講演会

「映像で読むにいがた～地域映像アーカイブとは何か～」

新聞やテレビで扱われるニュースや話題、トピックではない、また、名所・旧蹟といったものでもない、私たちの日々の暮らしを写しとった映像から見たとき、にいがたの街や人びとはどんな風に見えるのか。日常生活を考えるための道具としての映像、そんな新しい研究である地域映像アーカイブの面白さを分かりやすく話す。

- ① 主催：新潟県立図書館・新潟大学附属図書館・新潟市立中央図書館
- ② 日時・会場：10月4日（土）1時30分～15時 万代市民会館多目的ホール
- ③ 講師：本井晴信（元新潟県立文書館副館長）原田健一  
参加者数 105人

2. 大学連携によるシンポジウム

○「寄らば斬るぞ！ 新国劇と剣劇の世界」

① 主旨

2014年、早稲田大学演劇博物館で企画展『寄らば斬るぞ！ 新国劇と剣劇の世界』が開催されました。俳優の澤田正二郎が同志とともに結成し、『国定忠治』『月形半平太』『大菩薩峠』など数々の名舞台を生み出した劇団「新国劇」（1917年－87年）を起点に、20世紀の日本芸能史を縦横に貫くチャ

ンバラ＝剣劇の魅力を再検討する試みです。本講座では、初めに統括者の立場から企画展の成果を発信し、さらに俳優養成学校「日本時代劇研究所」所長の滝洗一郎氏（元・新国劇）を招聘し、剣劇独自のアクション＝殺陣（たて）の体験型ワークショップを開催します。

② 主催：羽鳥隆英

協力：砂丘館 新潟大学地域映像アーカイブセンター 早稲田大学演劇博物館

③ 日時・会場：2015年2月8日（日） 午後2時～午後4時 砂丘館

④ イベント

講演「企画展『新国劇と剣劇の世界』の世界」

講師：羽鳥隆英（早稲田大学演劇博物館助手）

ワークショップ：「殺陣の世界」

講師：滝洗一郎（日本時代劇研究所所長）

参加者 20人

○公開研究会「イメージのサーキュレーションとアーカイブ」

① 主旨

サーキュレーションは、その往還の試み＝動態を記述する方法である。その根底には「変容」「流れ」がある。マーシャル・マクラーハンが最晩年に著した「テトラッド（強化・回復・衰退・反転）」（『メディアの法則』）はまさにこの「変容の記述」の一般化の試みの1つといえよう。この中に混在する意味と物性の絡み合いこそが、イメージ×アーカイブが相互に指示し合う、あるいはその結節点を辿りながら転移し、乗り移り、過去から現在・未来へ渡り歩く、循環をなす原メディア的な「動き（プロセス）」なのだ。（水島久光）

② 主催

神戸映画資料館 神戸大学連携事業「映像を介した大学とアーカイブの地域連携」一般社団法人神戸映画保存ネットワーク（平成26年度文化庁美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業）

③ 日時・会場 2015年3月21日（土）15時～18時 神戸映画資料館



④ シンポジウム「第2部 映像のマイクロヒストリア」

報告者 松谷容作（神戸大学） 藤原征生（京都大学） 原田健一（新潟大学） 北村順生（新潟大学） 榎本千賀子（新潟大学） 棕本輔（横浜国立大学）

司会 水島久光

参加者 30人

3 研究の成果の公開

研究プロジェクトの中間報告として、『人文科学研究』第136輯の小特集「地域映像アーカイブ」として、以下の4本の論文、報告を掲載した。

原田健一「映像アーカイブによる中間的コミュニケーションの分析」

榎本千賀子「「村」に暮らす、「村」を写す—角田勝之助（福島県大沼郡金山町）聞き取り」

北村順生「地域映像アーカイブの活用に関する一考察～十日町情報館ワークショップ実践の試み～」

古賀豊「映像アーカイブとFolksonomy－Topic Models / Latent Dirichlet Allocation の応用」